評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| なつから かわった ところを  見つけよう | 【関心・意欲・態度】  春や夏の様子と比べながら，校庭や公園，野原の様子の変化を遊びや秋さがしを通して見つけようと楽しんでいる。（態度・行動・発言） | ・春や夏の様子を振り返ったり，以前かいた発見カードなどを参考にしたりして思い出させる。また，「前は○○して遊んだね。」など，振り返りの視点をはっきりとさせる。 |  | ・進んで春や夏の様子と比較し，変化の様子を発見したり，自然物にふれたり，友達を誘って遊ぶことができる。 |
| 【思考・表現】  校庭や公園，野原に行くための計画や準備をしたり，その場所での約束を考えたりすることができる。また，夏や春と比べながら季節が変わったことを表現することができる。（発言・行動・カード） | ・春や夏に行ったときの経験を交流したり，以前かいた発見カードやその時の写真などを活用したりして振り返り計画をさせる。 |  | ・以前の経験をもとに必要な物や約束などを考え，進んで計画や準備を進めることができる。  ・春や夏の様子と比較しながら季節の変化を工夫して(例えば諸感覚を使って)表現することができる。 |
| 【気付き】  遊び場や野原がみんなのものであることに気付き，決まりを守って行動することができる。また，草木や生き物に様子が変化していることから季節が変わったことや自然物や生き物の不思議や面白さに気付いている。（発言・行動・つぶやき・カード） | ・決まりについては，具体的な例をあげて，なぜ守るのかを考えさせたり，よい行動をほめたりすることで気付かせる。  ・他の子どもの発見や遊びを紹介し，共有させるなかで，発見の視点に気付かせる。 |  | ・みんなの場所であることを意識し，約束や決まりを守って行動したり，友達と仲よく遊んだりすることの大切さに気付いている。  ・春や夏の様子と比較しながら，たくさんの草木や生き物の様子の変化や，自然物や生き物の不思議さ，面白さに気付いている。 |
| 見つけた あきを  しょうかいしよう | 【関心・意欲・態度】  遊び場での季節の変化だけでなく，地域や家庭などの生活のなかにある季節の変化について発見したことや感じたことを，交流しようとしている。（発言・行動・カード） | ・発表が苦手な子どもには，準備段階より話型を提示するなど，自信が持てるように声かけを行い，意欲付けする。また，交流の形を工夫し，集中して聞けるようにする。 |  | ・発見した秋や感じたことを，進んで絵や文で表し，紹介しようとしたり，友達の発表を興味深く聞いたりすることができる。 |
| 【思考・表現】  発見した秋を，絵や文で表現し，相手にわかりやすく発表することができる。また，友達の発表を聞いて，感じたことや思ったことなどを伝えることができる。（発言・行動・カード） | ・小グループで情報交換を行い，友達の気付きを参考にさせたり，遊び場へ行った時の写真や動植物の図鑑を活用させたりする。 |  | ・発見した秋や感じたことを絵や文などで工夫して表現したり，相手にわかりやすく伝えられるように工夫したりして発表することができる。 |
| 【気付き】  カード作りや発表，友達との意見交流を通して，秋らしさや自然の変化に気付いている。（発言・対話・カード） | ・秋の変化が見つからない子どもには，衣食住の視点をもたせたり，保護者へのインタビューなどを設定したりして，家庭生活にも目を向けさせる。 |  | ・交流を通して，諸感覚を通してたくさんの季節の変化を感じ取り，さらに気付きを深めようとすることができる。 |

評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| つくって 見つけて たのしもう | 【関心・意欲・態度】  『みんなで あきを たのしもう』に向けて，楽しみながら自然物を使って遊ぶものや飾るもの，生活に役立つものを作ったり，形状などから発見したことをまとめたりする。（行動・作品） | ・活動につながらない子どもには，友達の作品を見せたり参考資料などを提示したりする。(学校図書館やインターネットの活用)または，同じような活動を行う子どもどうしの小グループで協力し活動をさせる。 |  | ・伝える相手を意識し，より良い作品づくりや発見のまとめを意欲的に行い，遊び方の紹介の仕方や作品の展示方法を進んで考え，『みんなで あきを たのしもう』に向けての準備を行っている。 |
| 【思考・表現】  秋の自然物を使って，遊ぶ物や飾るものを作ったり，発見したことや感じたことを様々な方法で発表する準備をしたり，生活に役立つものを工夫して作ったりすることができる。（発言・行動・作品） | ・発表や制作活動，作品の展示の仕方などがわからない子どもには，「みんなはどんなふうに作っているかな。」と他の子どもの活動を参考にさせたり，「どうしたらみんなにわかりやすいかな。」と声かけし，絵や図に表したり，見本を作ったりするなど発表準備の工夫の視点を提示する。 |  | ・秋の自然物の形状や色合い，性質などを生かし，自分なりの工夫を加えて制作活動や発見を行うことができる。また，楽しく遊ぶために作ったルールや発見を相手に分かりやすく伝えるための発表準備を工夫して行うことができる。 |
| 【気付き】  みんなが楽しく遊べるように，遊び方やルールを工夫することや，わかりやすく伝えるために工夫が必要であることに気付いている。（発言・行動・作品） | ・友達とペアで発表練習をし，改善点について交流させ，相手のことを考えて発表することに気付かせる。 |  | ・作ったり遊んだり，観察したりしながら，自然物の様々な様子について気付くことができる。また，楽しく遊ぶためのルール作りや，わかりやすく伝えるための掲示物や見本づくりなどの工夫をし，相手を意識し発表することの大切さに気付いている。 |
| みんなで あきを たのしもう | 【関心・意欲・態度】  みんなと協力して秋を楽しもうとしている。（発表内容・発言・行動） | ・自分の役割を確認させ，準備と交流の仕方などの流れを板書に明示し，意識できるよう支援する。 |  | ・発表を聞いてもらうために積極的に友達に声かけするなど，自分の役割を進んで行おうとすることができるとともに，全体の流れをつかみながらみんなと協力して楽しむことができる。 |
| 【思考・表現】  伝えたいことをわかりやすく，伝えることができる。また，相手の発表に対しても自分の思いや感じたことなどを伝えることができる。（発言・対話・カード） | ・自分の思いや感じたことなど，伝えることが苦手な子どもは，友達と一緒に行動させたり，カードなどにかくことによって交流させたりする。 |  | ・準備したものを活用し，相手の反応や行動を見ながら，分かりやすく伝えることができる。また，友達の発表について，自分の思いや感じたことを進んで伝えることができる。 |
| 【気付き】  秋を楽しむことを通して，秋の自然物の不思議さや面白さに気付いている。また，『秋を楽しもう』の振り返りを通して，自分の頑張りや友達の頑張りに気付いている。（発言・行動・カード） | ・写真や活動記録(カードや学習プリント)，制作物などの具体物を見せたり，友達の発言を思い出したりして振り返らせる。 |  | ・学習全体を振り返り，自分の活動の頑張りだけでなく，友達の活動についても気付いている。また，季節の移り変わりのなかで，秋の自然の特徴と不思議さ，面白さに気付いている。 |